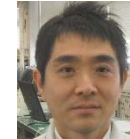


未来の担い手の確保に向けた取組



福島県会津若松建設事務所企画調査課
主任主査 緑川 正樹

1. はじめに

少子高齢化や人口減少という人口動態の変化により、多くの業界で人手不足が生じることが懸念される。建設業界においても未来の担い手を確保することは喫緊の課題である。

福島県建設業協会若松・宮下支部に在籍する技術者の年齢構成については、図-1のとおり、50歳以上が5割以上を占めている状況で、10年後には、さらなる高齢化が予想される。

また、図-2のとおり、同協会同支部に在籍する技術者のうち、女性が占める割合は、2%となっており、依然として建設業界は、「男性社会」である。

建設業界において、未来の担い手を確保するためには、『若者が建設業に興味を持ち、入職してもらうきっかけづくり』と『女性が建設業で活躍できる職場環境づくり』が重要となる。

そのような中、会津若松建設事務所では、同協会同支部と協働で「担い手確保」に向けた様々な取り組みを行っているが、そのうち二つの取組について、紹介する。

高齢化が顕著

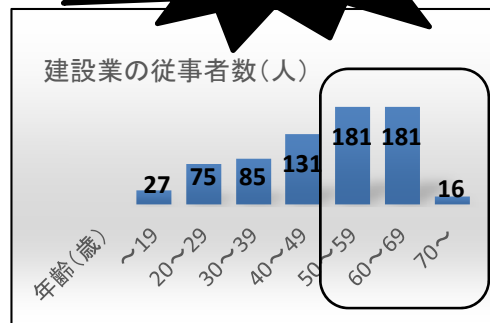


図-1 従事者の年齢構成

未だ男性社会

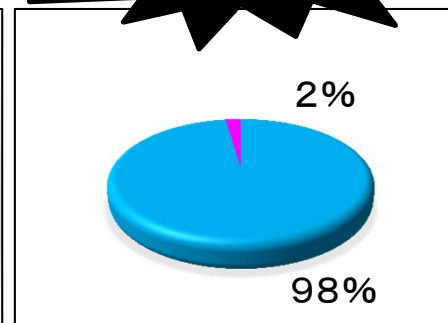


図-2 従事者の男女比

『若者』が建設業へ入職

『女性』が建設業で活躍

2. 建設系高校生への課外授業

(1) 目的

技術者の担い手確保に向け、建設業についてよりいっそう興味関心を持ってもらうため、地元高校生に対し、会津地方の建設業に携わる若手技術者から、地域に貢献している建設業の魅力を伝える。

(2) 実施概要

- ①開催日:平成29年2月22日(水)
- ②対象者:喜多方桐桜高校 建設科 1、2年生
- ③内容

■建設業PR

- ・公共土木施設の役割
- ・災害時の緊急対応
- ・道路除雪
- ・現場の魅力 など

■グループワーク

テーマ1:建設業の魅力を向上していくためには

- ・建設業のやり甲斐や重要な仕事だということを多くの方に知ってもらう広報活動が大事。
 - ・災害時の活動や除雪など非日常な部分をPRする。
 - ・建設業がなかったら、どれだけ不便になるかを地域の人と考える。
 - ・建設業の魅力を伝える方法を考える。
- ⇒先輩からの話は、すーっと入ってきたので、身近な方の声を聞く。

テーマ2:こんな仕事をしてみたい

- ・人の役に立つ仕事。達成感のある仕事。
- ・地域の人から感謝される技術者になりたい。
- ・休みがしっかり取れる仕事。



3. 会津 美Lady

(1) 概要

- ① 設立年月日：平成26年9月8日に設立。
- ② 構成メンバー：8名（平成29年12月末現在）
福島県建設業協会若松支部・宮下支部、
会津若松建設事務所に所属する女性技術者等
- ③ 目的
建設業全般について、**女性の視点**で検証・分析し、**改善点を提案**。



(2) あおもり女性建設技術者ネットワーク会議と意見交換会

① 目的

女性が建設業への入職を促す環境づくり、働きやすい現場の労働環境の整備などの課題に取り組んでいく必要がある。よって、業界特有の課題への取り組みに向けたヨコのつながりを強め、情報交換と共有化を図るため、先進的な活動を行っている「あおもり女性建設技術者ネットワーク会議」と意見交換会を行った。

② 意見交換会の内容

- ・テーマ1：女性がもっと活躍できる建設業へと発展していくための方法
⇒性別に関係なく様々な人が働きやすい職場環境にすることが大事。
環境改善を提案するためには、会社に必要とされる人材になる必要がある。
- ・テーマ2：建設業への入職を促す環境づくり
⇒建設業は3Kのイメージや現場のイメージが強いため、幅広い職種を知ってもらい自分に適した職を見つけてもらう。そのためには、建設業界で働いている自分たちが前に出て、これから就職する学生や学校の先生に詳しく仕事内容を直接話していく必要がある。
- ・テーマ3：女性が働きやすい現場環境
⇒コミュニケーションを女性のほうから積極的に行い、自分の考えを伝えれば男性の理解を得ることができる。



(3) 現場点検パトロール

① 目的

建設業は、男性が多い職場であることから、現場事務所では男性目線による整頓や整理などにより、職場環境が形成されてきた。女性ならではの「気づき」をいかして職場のちょっとした不具合を改善し、誰もが快適で働きやすい職場環境を整えることにより、現場の安全衛生や作業環境の向上につなげる。

② 実施日 平成29年11月6日(月)

③ 実施場所

安全推進協議会にて選定した現場 4か所

(会津若松市3か所、会津美里町1か所)

④ パトロール方法

- ・「環境美 * チェックシート」を用いて、男性目線では気づかないような喫煙マナーやトイレの配置・清掃状態、服装などについて点検を行い、職場環境改善を促します。
- ・点検後は、チェックシートの点数に基づき、現場の“やる気”を引き出す「評価シール」を配布します。

⑤ パトロール結果

【良い点】

- ・整理整頓がされていてきれいだった。
- ・ゴミの分別がきちんとされていた。
- ・AEDの設置がされていた。
- ・音声案内付の注意看板が良かった。

【改善すべき点】

- ・トイレ廻りに手洗いが無かった。
- ・タバコの吸い殻が落ちていた。
- ・トイレトペーパーの補充が無かった。
- ・注意喚起の看板が無かった。



4. おわりに

建設業は、社会基盤の整備に加えて、災害対応、除雪等、県民が安全・安心な生活を営む上で重要な役割を果たしている。地域の建設業が持続していくためには、未来の担い手を確保する必要がある。

若者や女性などの多様な人材が建設業で活躍できる環境づくりなどを建設業界と連携し、検討していきたい。